

失語症リハビリテーション治療学特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 若松千裕 wakamatsu@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

失語症の症候、病態の基礎知識をもとに失語症の評価方法、治療について学ぶ。

【学修目標】

一般目標：失語症に関する最新の理論について学ぶ。

行動目標：

1. 失語症の症候と診断の要点を説明できる。
2. 失語症の評価法を列挙できる。
3. 失語症の治療理論、治療法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～15	失語症の理論と治療	失語症の症候、病態、評価法について学び、症候・病態の分析方法とリハビリテーション方法について学ぶ。	若松千裕

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート50%、平常点50%

【教科書】

使用しない

【学修の準備】

基本的知識について文献を読んで予習をする。（80分）

講義で使用した資料、討議内容を復習する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

若松千裕（言語聴覚士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。